

保護者の皆さまのご協力も大切です

子供たちの学習を補助 – 温度や時間を測る

子供たちが測定概念を理解するために、私たちは、測定が実生活のどのような場面でどのように行われているか見せてあげる必要があります。また以下のことについて話し、測定に関連することばの理解を促してあげることも大切です：

- ・ 測定することができるもの
- ・ 測定に用いる道具
- ・ 「分」、「時間」、「度」など、測定に使う単位

子供たちは、温度や時間の測り方をどのようにして学ぶのでしょうか？

測定を理解するには、子供たちは2つあるいはそれ以上のものを比較する機会を与えられなくてはなりません。例えば温度を理解するには、「熱さ」または「冷たさ」を知るために2つのものを比較する必要があります。温度の測り方だけでなく、温度がものに及ぼす影響についても、実際に目で見て、話すことが大切です。

最初に子供たちは、「昨日」、「今日」、「明日」などのことばを用いたり、また何らかの行為が完了する時間を比較することによって、時間について学んでいきます。(例：「ボールを上に向けて、落ちてきたら受け止めてごらん。その間に私は手を3回叩くことができるよ」)。後に、彼らはデジタルやアナログ式の時計を読めるようになります。



保護者の皆さまのご協力も大切です

家庭ではどういったお手伝いができるでしょう？

- ある出来事について、時間に関連させながら話してあげます。例えば、「これに火が通るまで3分くらいかかるから、その間にパンにバターを塗る時間がありそうね」。
- 置き時計や腕時計など、種類の違う時計を見せてあげましょう。アナログ式かデジタル式か尋ねてみます。
- キッチンタイマーや目覚まし時計の時刻を一緒に合わせましょう。お子さまにも積極的に手伝わせてあげてください。
- 特別な行事をカレンダーに記し、その日まであと何日、あるいは何週間あるなど話し合ひましょう。
- 陸上競技や水泳競技を見て、選手が試合で達成するタイムについて話しましょう。
- 食品に表示されている「賞味期限」の日を一緒に見つけ、その日まであと何日残っているか話し合ひましょう。
- バスや電車などの公共輸送機関を利用する際、お子さまと一緒に時刻表を調べましょう。また空港ならば、発着時刻の掲示板を読ませてみてください。
- 駐車する時、標識を見て駐車制限時間について話してあげましょう。
- パーキングメーターに正しい金額を入れるのを手伝ってもらい、メーターが切れるまでどのくらい時間があるか話し合ひてみましょう。
- 食品や飲料のパッケージの表示を一緒に読み、推奨された保存温度を見つけましょう。
- 肉類や調理食品を冷凍する際、パックに入れたり、「賞味期限」のラベルを作るのを手伝ってもらいましょう。
- お料理の際、食べ物や飲み物の温度がどう変化するか、お子さまに話してあげましょう。例えば、「冷凍庫に入れると、水はどうなる？」または「コンロで温めるとお鍋の中のチョコレートがどうなるか、見てごらん」。

保護者の皆さまのご協力も大切です



- 天気予報を一緒に見て、予想気温などについて話しましょう。明日何を着た方がいいか、または何を持って行く必要があるか尋ねます。
- 近所の木々を見て、季節によってそれらがどう変化するか話してあげましょう。
- いろいろな種類の温度計を見せ、その用途について話してあげましょう。
- お風呂に入る前に、お湯の温度を測りましょう。どのくらいの温度だと熱すぎるか、冷たすぎるか、または適切な温度か話し合ってみてください。
- コンロやアイロン、ヒーターなど、非常に熱くなる家庭用品の注意事項について話してあげましょう。
- 温度や季節について書かれた本を一緒に読んであげます。クリスマスなどの特別なイベントやお祝い事について、北半球の国と比べてみてはいかがでしょうかでしょう。